

ロンドン 2022 年 12 月 6 日

サウスワイヤに金川集団向け SCR 銅棒圧延機を納入

- 電解タフピッチ（ETP）銅生産用の銅圧延機を新設
- 2024 年半ばに生産開始予定
- 生産量は毎時 48 トン

プライメタルズ テクノロジーズ（Primetals Technologies）は、サウスワイヤ（Southwire Company）から、中国甘粛省の金川集団有限公司（Jinchuan Group Company、以下 金川集団）向けサウスワイヤ連続銅棒圧延（SCR）システムの構成設備となる圧延機を受注しました。

金川集団は、2024 年半ばにこの新設の SCR システムで電解タフピッチ（ETP）銅の生産を開始し、建設業界向けのワイヤとケーブルを製造する予定です。

長年にわたる関係

金川集団向け SCR 銅棒システムは今回で 3 基となり、長期にわたる良好なビジネス関係を一層強化するとともに、サウスワイヤと当社が提供するソリューションの価値をあらためて証明するものとなりました。当社は、圧延機、コイラー、コイルハンドリング設備の大部分を設計、供給、据付する予定です。サウスワイヤの SCR 7000 圧延機には、13 台の独立駆動型スタンド搭載の Morgan No-Twist ミルが採用されています。

受注品にはまた、610 ミリメートルの入側せん断機とテーブル 1 組、457 ミリメートルの粗圧延機スタンド 1 基、305 ミリメートルの粗圧延機スタンド 4 基、320 ミリメートルのロータリーシャーとダウンループテーブル 1 組、203 ミリメートルの仕上げ圧延機スタンド 8 基（以上すべて油圧式ロール搭載）、棒鋼冷却洗浄システム（インジェクターとエアワイプ搭載）1 基、ローラー式ターンダウン装置 1 基、ピンチロール 2 基、コイラー 1 基、インラインコンベヤシステム設計、潤滑システム 2 基が含まれます。

数十年にわたる経験

ジョージア州キャロルトンを拠点とするサウスワイヤは、1963年にSCRプロセスを開発しました。当社とのシステム新設や更新プロジェクトでの提携は数十年にわたっています。現在、世界で生産されている全銅棒の50%以上がSCRプロセスによるものです。

金川集団は1958年に設立された国有企業で、甘肅省人民政府が株式の大半を保有しています。採掘、塊成、冶金、化学エンジニアリング、下流プロセスを専門とし、ニッケル生産では世界第3位、コバルト生産では世界第4位であり、中国第4位の銅生産者として名を馳せています。

NO-TWISTは、プライメタルズ テクノロジーズの登録商標です。

SCRは、サウスワイヤの登録商標です。

主な仕様: 金川集団向け新設銅棒圧延機

コイルサイズ: 2~4 トン

コイル径: 8、9.5、12.7、16、18、25 ミリメートル

生産量: 毎時 48 トン



プライメタルズ テクノロジーズ製 銅棒圧延機

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）によるプレスリリース及び使用料無料写真は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ SNS 公式アカウント

[linkedin.com/company/primetals](https://www.linkedin.com/company/primetals)

[facebook.com/primetals](https://www.facebook.com/primetals)

twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約 7,000 人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト：<https://www.primetals.com/jp>